



## 2025年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月14日

上場会社名 エフビー介護サービス株式会社 上場取引所 東  
コード番号 9220 URL <https://fb-kaigo.co.jp/>  
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 柳澤 美穂  
問合せ先責任者（役職名） 取締役管理本部長（氏名） 二之宮 修（TEL） 0267(88)8188  
配当支払開始予定日 —  
決算補足説明資料作成の有無：無  
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

### 1. 2025年3月期第3四半期の連結業績（2024年4月1日～2024年12月31日）

（1）連結経営成績（累計）（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年3月期第3四半期	8,247	6.4	523	△4.7	536	△14.4	331	△18.6
2024年3月期第3四半期	7,754	7.9	549	4.9	626	15.2	406	27.7

（注）包括利益 2025年3月期第3四半期 330百万円（△20.0%） 2024年3月期第3四半期 413百万円（28.5%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年3月期第3四半期	123.73	—
2024年3月期第3四半期	152.07	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

### （2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年3月期第3四半期	9,228	3,721	40.3
2024年3月期	9,499	3,478	36.6

（参考）自己資本 2025年3月期第3四半期 3,721百万円 2024年3月期 3,478百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年3月期	—	13.00	—	20.00	33.00
2025年3月期	—	13.00	—	—	—
2025年3月期（予想）	—	—	—	20.00	33.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2025年3月期の連結業績予想（2024年4月1日～2025年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,092	7.1	582	10.5	569	△29.0	360	△31.0	134.88

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) - 、 除外 ー社 (社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2025年3月期3Q	2,676,000株	2024年3月期	2,676,000株
② 期末自己株式数	2025年3月期3Q	ー株	2024年3月期	ー株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2025年3月期3Q	2,676,000株	2024年3月期3Q	2,676,000株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当四半期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当四半期の財政状態の概況 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記) .....	8
(会計方針の変更に関する注記) .....	8
(セグメント情報等の注記) .....	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) .....	9

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円安等を追い風にした企業の業績が順調で賃上げが進み、インバウンド需要も高水準で推移しましたが、賃金の上昇が物価の高騰に追いつかず、生活必需品を中心に消費者の節約志向が強まるなど個人消費が伸び悩み、景気の回復に弱さが見られました。

介護業界におきましては、年々介護サービスの需要が増加し社会的な責務が重くなっておりませんが、3年に一度行われる2024年度介護報酬の改定では、常態化している人材不足の他、食材費等の物価上昇に苦しむ事業者の経営環境を改善するまでにはいたっておりません。介護事業者の倒産が増加しているとの報道もあり、厳しい状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは介護人材の確保のために引き続き技能実習生や特定技能外国人の採用を進めると共に、当第3四半期連結累計期間より介護事業部において働きやすい職場づくりとワークライフバランスの実現のため、一部の従業員を除き固定労働時間制から変形労働時間制に移行いたしました。さらには、政府からの介護職員処遇改善支援補助金の活用等、介護職員の処遇改善を行いました。

また、当社グループの業績拡大を図るため、2024年4月に長野県安曇野市及び栃木県小山市にそれぞれグループホームを新規に開設いたしました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は8,247百万円（前年同期比6.4%増）、営業利益は523百万円（前年同期比4.7%減）、前年同期に支給された1介護事業所の特定施設転換に係る補助金収入の剥落等により経常利益は536百万円（前年同期比14.4%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は331百万円（前年同期比18.6%減）となりました。

各セグメントの経営成績は、次のとおりであります。

#### (福祉用具事業)

福祉用具事業においては、引き続きケアマネジャーや利用者様等への訪問を重ね、新規利用者様の開拓にも注力した地域密着の営業活動を行い、売上高が堅調に推移し増収となりました。利益については自社レンタル商品の販売に注力したことで自社レンタル商品の仕入が増加し、減益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の福祉用具事業の売上高は3,453百万円（前年同期比5.7%増）、セグメント利益は230百万円（前年同期比20.6%減）となりました。

#### (介護事業)

介護事業においては、2024年3月～4月に開設した3介護事業所の他、既存事業所でも積極的に営業を進めて入居者の確保に努めたこと等により増収となりました。また、物価の高騰により食材費等の増加がありましたが、介護の原点に戻って業務の見直し等を行い、2023年3月に開設した4介護事業所の他、2024年3月～4月に開設した3介護事業所も損益改善が進んだことで増益となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の介護事業の売上高は4,793百万円（前年同期比6.8%増）、セグメント利益は293百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

財政状態は、次のとおりであります。

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ270百万円減少し、9,228百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ110百万円減少し、4,173百万円となりました。主な要因は、現金及び預金142百万円の減少によるものであります。固定資産は前連結会計年度末に比べ157百万円減少し、5,054百万円となりました。主な要因は、減価償却による減少によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ513百万円減少し、5,507百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ316百万円減少し、2,636百万円となりました。主な要因は、賞与引当金の減少150百万円、短期借入金の減少100百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少84百万円によるものであります。固定負債は前連結会計年度末に比べ196百万円減少し、2,871百万円となりました。主な要因は、長期借入金の減少271百万円によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ242百万円増加し、3,721百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益331百万円の計上等に伴い利益剰余金が増加しております。自己資本比率は前連結会計年度末の36.6%から3.7ポイント増加し40.3%になりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年3月期通期の連結業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績は順調に推移しており、2024年5月15日公表の予想数値から変更はございません。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成しておりますが、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,362,246	2,220,194
売掛金	1,527,333	1,633,906
商品	10,804	14,724
貯蔵品	20,063	21,224
その他	363,757	283,260
貸倒引当金	△109	△67
流動資産合計	4,284,096	4,173,242
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	3,945,415	3,736,082
その他（純額）	572,857	647,495
有形固定資産合計	4,518,272	4,383,577
無形固定資産		
のれん	75,387	60,861
その他	73,740	60,274
無形固定資産合計	149,127	121,136
投資その他の資産	545,198	550,193
固定資産合計	5,212,598	5,054,907
繰延資産		
株式交付費	3,285	843
繰延資産合計	3,285	843
資産合計	9,499,981	9,228,994

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	203,546	205,974
短期借入金	906,000	806,000
1年内返済予定の長期借入金	407,718	322,844
未払法人税等	148,106	99,640
賞与引当金	302,468	152,354
その他	985,230	1,049,413
流動負債合計	2,953,069	2,636,227
固定負債		
長期借入金	2,290,566	2,019,046
退職給付に係る負債	31,080	30,121
資産除去債務	240,821	242,706
その他	505,882	579,775
固定負債合計	3,068,349	2,871,648
負債合計	6,021,419	5,507,876
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	496,544	496,544
資本剰余金	486,544	486,544
利益剰余金	2,484,130	2,726,914
株主資本合計	3,467,218	3,710,002
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,343	11,115
その他の包括利益累計額合計	11,343	11,115
純資産合計	3,478,561	3,721,117
負債純資産合計	9,499,981	9,228,994

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
売上高	7,754,583	8,247,590
売上原価	6,490,495	7,020,715
売上総利益	1,264,088	1,226,875
販売費及び一般管理費	714,246	703,058
営業利益	549,842	523,817
営業外収益		
受取利息	89	218
受取配当金	1,229	1,293
補助金収入	63,808	3,172
社宅使用料	10,100	13,215
その他	33,108	21,956
営業外収益合計	108,336	39,856
営業外費用		
支払利息	25,808	24,320
その他	5,871	3,072
営業外費用合計	31,679	27,392
経常利益	626,499	536,281
特別損失		
関係会社出資金評価損	2,176	—
特別損失合計	2,176	—
税金等調整前四半期純利益	624,322	536,281
法人税等	217,385	205,189
四半期純利益	406,937	331,091
親会社株主に帰属する四半期純利益	406,937	331,091

(四半期連結包括利益計算書)  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
四半期純利益	406,937	331,091
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,541	△227
その他の包括利益合計	6,541	△227
四半期包括利益	413,479	330,864
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	413,479	330,864

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更に関する注記)

(「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用)

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しております。

法人税等の計上区分(その他の包括利益に対する課税)に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2022年10月28日。以下「2022年改正適用指針」という。)第65-2項(2)ただし書きに定める経過的な取扱いに従っております。なお、当該会計方針の変更による四半期連結財務諸表への影響はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	福祉用具事業	介護事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,267,639	4,486,944	7,754,583
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,267,639	4,486,944	7,754,583
セグメント利益	289,943	259,898	549,842

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント		
	福祉用具事業	介護事業	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,453,657	4,793,933	8,247,590
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—
計	3,453,657	4,793,933	8,247,590
セグメント利益	230,120	293,696	523,817

(注) セグメント利益の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)
減価償却費	260,383千円	281,901千円
のれんの償却額	12,685千円	14,525千円